

平成24年10月24日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

## 平成24年度 第2回 教育文化・環境清流合同部会

◆ 10月24日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成24年 第2回 教育文化・環境清流合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成24年10月24日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 2F キャンティ
- ・出席者：部会長、運営委員、会員、オブザーバー等

### ◎ 教育文化・環境清流合同部会の概要

#### 1. 開会

#### 2. 部会長挨拶

#### 3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 第1回・美しい多摩川フォーラムの森(青梅)の下刈りイベント開催(6/30) ※  
【資料1】
- (2) 多摩川っ子(第5号)発刊(7/9) 【資料2】
- (3) 「食と地域の交流促進対策事業」～第2回・食と文化の交流イベント開催(7/7) ※  
【資料3】
- (4) 第22回・狛江古代カップ・多摩川いかだレース参加(7/15) ※ 【資料4】
- (5) 多摩川“水”大学講座(7/20、9/21、10/19) 【資料5】
- (6) 第5回・子どもカヤック体験教室開催(7/21) ※ 【資料6】
- (7) 東急百貨店より第3回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(7/24) 【資料7】
- (8) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成24年度総会開催(7/25) 【資料8】
- (9) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/7) 【資料9】
- (10) 第4回・炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/17) ※ 【資料10】
- (11) 「食と地域の交流促進対策事業」～第2回・実行委員会開催(9/10) 【資料3】
- (12) 「食と地域の交流促進対策事業」～大人のためのカヤック体験教室開催(9/17) 【資料3】
- (13) 第5回・美しい多摩川フォトコンテストの募集開始(10/1～12/31) 【資料11】
- (14) 第5回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/13) 【資料12】  
～以下、当面の予定～
- (15) 多摩川“水”大学講座(11/16) 【資料5】

(16) 第4回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11月) 【資料13】

(17) 第5回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/8) 【資料14】

#### 4. 意見交換

(1) グリーン・ツーリズムの促進について【資料3】

(2) 夢の桜街道運動 (多摩川&東北) について【資料8】

(3) 講師派遣・人材バンク制度の新設について【資料15】

(4) その他

#### 5. 部会長総括・閉会

##### 1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成24年度第2回教育文化・環境清流合同部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

(奥多摩町 企画財政課 課長 若菜 伸一 様)

皆さんこんにちは。多摩川の東京都側の一番上流にあります、奥多摩町の企画財政課長として本日参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

(大田区 都市基盤整備部 糺谷・羽田まちなみ維持課長 久保 輝幸 様)

久保と申します。主に大田区の道路や河川を管理しております。多摩川は、大田区の田園調布と六郷で大きく湾曲し、最後は羽田にたどり着く、大田区は多摩川の最下流に位置します。どうぞよろしくお願いいたします。

(青梅市 環境経済部 環境政策課 管理係長 渡部 亀四郎 様)

渡部と申します。奥多摩の隣町の青梅市から参りました。東京都では、上流から2つ目の行政になりますので、よろしくお願いいたします。

(京王電鉄株式会社 広報部 企画・環境担当課長 駒寄 健夫 様)

駒寄と申します。本来であれば、部長の大里が出席するのですが、本日は代理で出席いたしました。私どもの本社は多摩川沿いの関戸にあり、我々にとっても多摩川は身近な存在ですので、これからも密接に関わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(日本たばこ産業株式会社 立川支店 常務部 次長 中島 愛明 様)

中島と申します。7月に着任し、今日は初めての参加ですが、どうぞよろしくお願  
い申し上げます。我々JTも、環境美化活動として「ひろえば街が好きになる」運動  
を全国的に展開しています。売るばかりではなく、環境美化もやっ  
ていこうということで、行政さんと協力して頑張りたいと思いますので、よろしくお願  
いいたします。

(一般会員 青木 拙子 様)

東大和に住んでおります青木と申します。自宅に青梅信用金庫さんがお見えになり、  
フォーラムの説明をしてくださいました。非常に良いことだと思い、会員になりました。  
今日、気楽な気持ちで参加しましたが、とんでもないところに来てしまったよう  
な思いです。ともかくお話を聞かせていただき、良い内容でしたら続けさせていた  
だきたいと思  
います。雰囲気  
に圧倒されてい  
ますが、よろしくお願  
いいたします。

(事務局)

有り難うございました。堅苦しくなる必要はありません。役職や立場は関係なく、  
イコールパートナーとして、誰でも自由に発言できて、夢を語り合える会です  
ので、ご安心して雰囲気を確認してください。

(オブザーバー 森下 律子 様)

平野啓子事務所の森下です。今日は平野の代理で参りました。皆さまのご意見をし  
っかり耳にたたき込んで帰りたいと思  
います。どうぞよろしくお願  
いいたします。

(オブザーバー 株式会社アクアライフ 代表取締役 鈴木 正美 様)

「第12回あおしんビジネス支援マッチング大会」にブース出展させていただいた  
のをきっかけに、本日オブザーバーとして出席させていただきました。私の会社の母  
体は、株式会社サンルートと申しまして、農業や医療の仕事をしています。フォーラ  
ムの趣旨を理解した上で、我々として何かできることはないかと参加させていた  
だきました。どうぞよろしくお願  
いいたします。

## 2. 部長挨拶

(渡邊部会長)

平成24年度・第2回教育文化・環境清流合同部会を始めます。式次第の通り、経  
過報告も沢山ありますし、当面の予定や意見交換もありますので、早速始めたいと思  
います。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

### 3. 経過報告

(事務局)

はい、今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに（１）番、（３）番、（４番）、（６番）、（１０）番をビデオにまとめておりますので、後方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

#### (3) 「食と地域の交流促進対策事業」～第２回・食と文化の交流イベント開催（7/7）※

##### 【資料３】

- ・ 【資料３】をご覧ください。平成２４年７月７日（土）、宮城県加美郡加美町にある農家民宿「おりぎの森」において、「第２回食と文化の交流イベント」が開催されました。これは、農林水産省関東農政局の「平成２４年度 食と地域の交流促進対策交付金」による事業で、多摩地域に古くからある“食”や“文化”を見直し、今後の交流促進に活かそうという試みであり、今回はその第２回目として、観光と連携した都市農山村の交流（グリーン・ツーリズム）を促進するため、当フォーラム副会長で語り部の平野啓子さんによる朗読と「語り」のイベントを開催しました。

#### (5) 多摩川“水”大学講座（7/20、9/21、10/19）【資料５】

- ・ 【資料５】をご覧ください。これは、今年度の新規事業で、調布市との共催のもと、５月１８日に開講し、順調に進んでおります。講師には、小倉副会長をお迎えし、講座を通じて「水環境のリーダー」の養成を目指します。

#### (7) 東急百貨店より第３回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈（7/24）【資料７】

- ・ 【資料７】をご覧ください。平成２４年７月２４日（火）、株式会社東急百貨店本社にて、今年度も、東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部２７５，８３４円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されましたので、ご報告致します。

#### (8) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成２４年度総会開催（7/25）【資料８】

- ・ 【資料８】をご覧ください。平成２４年７月２５日、平成２４年度総会が開催され、当フォーラムより同協議会への拠出金について、平成２４年度１，７００，０００円が承認されました。後ほど、意見交換でご説明させていただきます。

- (11) 「食と地域の交流促進対策事業」～第2回・実行委員会開催 (9/10) 【資料3】
- (12) 「食と地域の交流促進対策事業」～大人のためのカヤック体験教室開催 (9/17) 【資料3】
- ・ (11)、(12) については、意見交換の(1)において、ご説明させていただきます。
- (13) 第5回・美しい多摩川フォトコンテストの募集開始 (10/1～12/31) 【資料11】
- ・ 【資料11】の2枚目をご覧ください。「美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展 in 福生」とあります。フォトコンテストは今まで4回開催され、入選作品のストックもだいぶたまってきました。これらをただ事務局が管理しているのももったいないですし、我々はそもそも官民連携の団体ですので、行政の皆さんのフロアをお借りし、作品展を開催することになりました。その第1段が福生で開催されます。本日までご出席いただいている行政の方もいらっしゃいますが、この作品展を今後輪番でやっていきたいと思っています。
- (14) 第5回・たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK開催 (10/13) 【資料12】
- ・ 【資料12】をご覧ください。これは、昨年の寄付金贈呈の様式です。先般10月13日に、第5回が開催され、大田区丸子橋付近のスタート地点には、今年も早朝より大田区議会議員ほか、区民有志の中には、今回初めて地元中学生の参加もあり、事務局も合わせて約50名が集まり、最終ゴールの羽村市を目指して出発しました。なお、集められた募金は、後日大田区長室において、寄付金として贈呈される予定です。
- (16) 第4回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11月) 【資料13】
- ・ 【資料13】をご覧ください。これは昨年の第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンのチラシです。第1回目は5団体、第2回目は10団体、昨年は15団体が連携団体として名を連ね、今年度は行政の立川市をはじめ、民間企業などが新たに参加する予定で、最終調整中です。
- (17) 第5回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/8) 【資料14】
- ・ 【資料14】をご覧ください。今年も12月8日(土)に昭島市のフォレストイン昭和館で開催いたします。例年10組程度の個人・グループが発表を行いますが、現在は5組が正式に決まっており、2組が調整中です。11月15日の応募締め切りまでまだ日数がありますので、関心のある方にお声掛けをお願いいたします。
- 経過報告は以上です。渡邊部会長、よろしく申し上げます。

(渡邊部会長)

事務局からの経過報告および当面の予定で何かご質問等はございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。

#### 4. 意見交換（部会長）

(渡邊部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

##### (1) グリーン・ツーリズムの促進について【資料3】

(事務局)

- ・ 【資料3】をご覧ください。

7月7日（土） 「第2回食と文化の交流イベント」を開催  
(アンケート集計結果を添付)

9月10日（月） 「食と地域の交流促進対策事業」第2回実行委員会開催  
(議事メモを添付)

9月17日（月） 「大人のためのカヤック体験教室」を開催  
(アンケート集計結果を添付)

最後のページは8月23日付の読売新聞の記事で、多摩川フォーラムが奥多摩郷土弁当を開発し、グリーン・ツーリズムの一環で観光ビジネスの創出につなげる狙いがあることが紹介されています。文中には「文化」についてのコメントも掲載されています。

- ・ 初めての試みである「大人のためのカヤック体験教室」については、事務局の心配をよそに大変好評で、受付1日目で定員に達し、その後もキャンセル待ちが相次ぐほどの人気イベントになりました。参加者は男女問わず、40代～60代の方が中心で、おひとりで参加される方も多くいらっしゃいました。このイベントの昼食には、現在開発中の奥多摩郷土弁当と桜スイーツ（この日は東洋米菓さんのみ）を試食いただき、アンケートを取りました。桜スイーツについては、府中の青木屋さんでも開発中で、来年1月29日の完成発表会では2つのスイーツが発表されます。
- ・ 関東農政局の交付金の事業は、今年度で終わります。来年度以降、どのようにこのグリーン・ツーリズムを展開していけば良いのか、皆様のご意見をいただければと思います。本来であれば、この案件を提案していただいた平野副会長からお話をしていただきたかったのですが、欠席のため、提案書をいただいておりますので、ご紹介させていただきます。

## 【平野副会長からの提案書】

食と文化の交流イベント～観光と連携した都市農山村の交流推進（グリーン・ツーリズム）～で現在進めている、郷土弁当づくりと「多摩の物語」づくりは、大勢の皆様のお力添えをいただき、おかげさまでいよいよ大詰めを迎える段となりました。ありがとうございます。

2年にわたるこの交付金事業の交付金は今年度で終了します。（立ち上がりを交付金で支え、あとは自立するようにとの説明を申請当初に受けておりました。）そこで、今後の自立を前提とした展開をするにあたって、この交付金をいただくことになった経緯を再度お伝えし、ここで共通理解をしておきたいと思い、資料を出させていただきました。

実は、2010年に、観光による地域起こしをテーマにした鼎談がありました。パネラーとして、当時の溝畑観光庁長官や私が参加しました。その折、客席には町づくりに関心の高い人が集まることから、私はフォーラムのことを知ってもらうチャンスであると思い、パンフレットを全員に配らせていただきました。私の発言内容は、いつもフォーラムの皆様にも話しているのと同じようなことを逐次しておりましたが、溝畑さんが、発言機会を何度も私に譲ってくださったため、その機会を利用して、予定外でしたが、フォーラムの説明をしました。発言後、溝畑さんは大変熱心にパンフレットを見てくださっていました。

終了後、客席に『まちむら交流きこう』さんから事務局の方が数人いらしたので、そのうちの一人に、私は「今日のテーマで地域起こしするに当たって国の予算をつけてもらい、フォーラムにも予算をいただきたいが、その術も知らなければ、情報も入らない。もし、申請できることになっても、マンパワーが足りない。」と話したところ、「『まちむら交流きこう』で今後、観光も視野に入れた取組を考えるかもしれない。今日のフォーラムを見に来た理由のひとつもそうだ。（平野が出ることは知らなかったのでびっくりした。）『まちむら交流きこう』で連携できるかもしれない」といわれました。その後、地域起こしの具体的な場所として、私は、多摩川流域と三宅島を提案。しかし、三宅島はガス発生など不安定な環境のため候補からはずすことに。

それから、月日が経って、『まちむら交流きこう』さんから、連携できそうな交付金が決まった!と連絡があり、あとは、ご存じの通り申請に向けてスタートしました。

申請中に東日本大震災があり、4月に観光庁長官名の文書が各地運輸局はじめ、全国の知事、政令指定都市の市長、関係団体の長宛てに出されました。内容は、観光産業で日本を元気にしたい、観光産業をもり立てる取組などで日本の事業に邁進してほしいとの呼び掛けでした。それを受けて、私は『まちむら交流きこう』

さんからの依頼で、ある事業のホームページに都市と農山漁村の共生・対流で交流人口が増加することによる復興効果のメッセージを寄せています。

さて、こうした出来事が重なる背景があって進んできた本事業の今後の話になりますが、歴史や文化の地域資源を、物語にして語り伝えるなかで、昔から多摩川流域にある食との出会いをする取組を、中・下流域も含めた流域全体で行いたいと思います。お弁当も上流域の話で重なるのであれば物語に取り入れます。既に地元には昔からある優れた加工品を総ざらいして(各商工会議所などから推薦してもらいなど)ひとまとめにアピールし、訪れる人が楽しく食と出会い、お土産に買って行ってもらえるような展開を、「多摩の物語」事業をきっかけにしていきたいと思います。簡単に言えば、今まである地元の自慢のものを活用するためのソフトを作ることです。「語り」はそのことに大変有効な手段です。奥多摩も含めて次々と物語を発掘していきたいと思います。ただし、「語り」については語る場が必要となりますので、これも様々な機会を捉えて場を設けられたらと考えます。

また、取材した人以外の人も情報を得て語り伝えられるように、文書や映像、音声メディアなどで保存して伝えられる方法、なども視野に入れた展開をしていきたいと思います。

以上、本日仕事と重なってしまったため、私の意見を提案文書にして提出させていただきますこと、ご容赦ください。平野

(事務局)

平野副会長からのメッセージをベースに、議論をお願い致します。渡邊部会長、よろしくお願いいいたします。

(渡邊部会長)

ただいまの説明について、何かご意見・ご質問はございますか。事務局のほうからご指名はありませんか。

(事務局)

地球野外塾の海老沢様、ご意見等がございましたらお願いします。

(海老沢様)

初めの一步としては、まず食を開発し、次に食を文化と結び付けていくほうが良いのではないかと思います。2つを同時に開発するのは無理があるのではないのでしょうか。

(事務局)

有り難うございました。1月26日に、本件の中間発表会が開催され、奥多摩郷土弁当、桜スイーツ、文化が発表されましたが、語りに対する反響も大きかったです。平野副会長の提案書にも、『(多摩を)訪れる人が楽しく食と出会い、お土産に買って行ってもらえるような展開を、「多摩の物語」事業をきっかけにしていきたいと思えます。簡単に言えば、今まである地元の自慢のものを活用するためのソフトを作ることです。「語り」はそのことに大変有効な手段です。奥多摩も含めて次々と物語を発掘していきたいと思えます。』とあります。語りを有効な手段にして、地元の自然・食・文化を伝えていくことをフォーラムとして上手く展開できないかということです。この件につきまして、JTBの横内様、ご意見はございますか。

(横内様)

グリーン・ツーリズムは、我々観光業界でもスポットを浴びております。多摩地域の食、文化について、このフォーラムでは育てている最中で、今まさに実を成らそうとしているところですが、その実をどのシーンで発信するかという問題があります。メディア発信はお金がかかります。多摩川に関わるもので、人が集うイベントは何だろうと考えると、2013年に開催される東京国体、またそのプレイベントが適切ではないでしょうか。せっかく良いコンテンツを、いかに発信するかが重要だと思います。このフォーラムには産・官・学が参加していますので、それを上手く利用し、パフォーマンスしていくことが大切だと思います。

(渡邊部会長)

様々な良い意見を出していただきましたが、時間の都合もありますので、他にご意見のある方は事務局へお願いいたします。

次のテーマに移ります。事務局から説明してください。

## (2) 講師派遣・人材バンク制度の新設について【資料15】

(事務局)

- ・ 【資料15】をご覧ください。これは、前回の活動部会で山崎運営委員から提案があり、事務局としてあくまでもタタキ台を作成してみました。これにつきまして、山崎副部会長からご説明をお願いいたします。

(山崎副部会長)

フォーラムには、たくさんのプロフェッショナルの方が集まっていますので、プロの人材が色んな所へ派遣できるチャンスをフォーラムで取りまとめることができれば良いと思っています。事実上すでに始まっているのは桜守です。桜のプロフェッシ

ョナルが、あちこちに呼ばれて桜の話をしに行く。平野副会長においては、語りの分野でプロフェッショナルの技術を発揮する。私は水辺の安全や環境教育に特化していますので、多摩川下流から上流まで呼ばれています。そういった時、誰にどう頼めば良いのか、直接講師を知らない場合があります。フォーラムの会員も1,400を超え、中には色々な事に参加したい人もいるだろうし、会員の学校で「こんなことをやってほしい、教えて欲しい、やってみたい」等があると思います。フォーラムであらかじめ登録しておけば、あとは依頼者と講師の話し合いで、ボランティアでも良いだろうし、お金をたくさん持っているのであれば講師は喜ぶでしょうし。仲を取り持つシステムを、フォーラムで構築して欲しいと思っています。これだけの色々な行政や団体、法人が入会していながら、お互い何をやっているか良く分からないのが現状です。「あの人に講師を頼みたいけど、1,000円の会費で頼めるなら、フォーラムに入会しようかな」と思ってくれる人がいるかもしれません。色々な人がコミュニケーションを取れる良い会にしていきたいと考えています。その一つの手段として提案しています。これを実現するに当たり、様々な障害があると思いますが、それを皆で意見を出し合い、前向きに検討していければと思います。ご意見よろしく願います。

(渡邊部会長)

時間が押しておりますので、2名ほど事務局から指名をお願いします。

(事務局)

馬淵副部会長、ご意見があればお願いします。

(馬淵副部会長)

我々が年4回発行している「財団だより」では、多摩川流域で活躍する様々な団体や個人の方の活動をご紹介している関係から、講師の相談があった場合にはご紹介をしています。あくまでも紹介するのみで、その後のビジネスは当人同士にお任せしています。先週の部会でも、この件について議論しましたが、様々な課題や責任問題等のご意見も出ました。実現の前に、かなり詰めていかなければならないと思います。

(事務局)

有り難うございました。これはあくまでも紹介システムで、最終的には依頼者と講師の間で直接交渉していただくことになります。今までも、あきる野の中学校から「環境学習をしたいので講師を紹介してほしい」と依頼があり、事務局だけでは足りないので、山崎副部会長や一般会員の漁協の方にも講師をお願いしました。これをシステム化できないか考えたのが【資料15】です。問題になるのは謝金や交通費に関して

です。この件についてご意見をいただければ有り難いです。

くにたち桜守の大谷様、実際に講師を依頼される立場としてご意見をお願いします。

(大谷様)

普段は小学校等で環境教育や桜の授業を行っています。先生も父兄も忙しい中で、環境教育の面白さや感動を子どもたちにどう伝えていくかを考えた時、山崎副部会長の提案を前向きに考え、来年度に向けて実行できればと思います。私自身、特に小学校2～3年生と感性がぴったり合うようで、子どもたちへの教育の場があればどこへでも行くつもりですので、こういう提案は前向きに賛成したいと思っています。

(渡邊部会長)

有り難うございました。お時間の関係で、他にもご意見があるようでしたら事務局をお願いします。事務局では講師制度についてもっと詰めていただき、ある程度の形にして再度提案してください。次のテーマに移ります。事務局から説明してください。

### (3) 夢の桜街道運動（多摩川&東北）について【資料8】

- ・ 事務局の宮坂です。本日は、初めて参加される方もいらっしゃいますので、過去の話から進めたいと思います。そもそもは東日本大震災で、地域づくり団体である多摩川フォーラムとして、何かできることはないかと検討を始めました。たまたま、美しい多摩川フォーラムの中でシンボルプランとなっている「多摩川夢の桜街道」のスキームが、東北に当てはまるのではないかとということで、さらに検討を進めました。当初は、我々の姉妹団体である「美しい山形・最上川フォーラム」に声を掛け、両団体合同でこのプランを立ち上げ、今年の10月1日に对外発表をいたしました。このプランの中身に好評をいただき、関心を持っていただいた国土交通省から、「地域づくりに補正予算を考えているので、応募してみてください」とお話をいただき、応募したところ、920万円の補正予算をいただきました。これを機に組織変更を行い、12月1日に「東北・夢の桜街道推進協議会」を立ち上げました。多摩川フォーラムとしては、この協議会に170万円を拠出することを決めました。その動きを受け、今年の春には諸処の活動を行い、大成功に終わりました。
- ・ 来年春に向け、7月25日には協議会の平成24年度総会を仙台で開催しました。【資料8】にありますように、行政構成員として東北6県と東京都、民間構成員としてJR東日本、全日空、日本航空、はとバス、JT B、クラブツーリズム、近畿日本ツーリストが参加しております。また、我々事務局が青梅信用金庫であるため、信金業界との連携を考え、東京都信用金庫協会、東北地区信

用金庫協会、全国信用金庫協会が加わりました。さらに、最上川フォーラムと多摩川フォーラムも地域づくり団体を代表して入っています。また、特別委員という形で、国土交通省東北地方整備局、東北運輸局が国として参加しています。半官半民の東北観光推進機構も参加しています。会長は渡邊部会長です。

- 次ページをご覧ください。平成23年度は第3次補正予算をいただきましたが、平成24年度はどうしようかという中で、国土交通省国土政策局から、「平成24年度は全国ベースで官民連携主体による地域づくりの推進事業を公募する」と案内があり、立候補したところ、全国9件の応募の中から、我々協議会を含めた5件が採択されました。先ほど申し上げた東北観光推進機構は、東北の観光を進めているところですが、その応募事業が落選し、我々の案件が通ってしまいました。そのため、我々の取り組みも責任が重大になってまいりました。
- では、今後どういう事業をしていくのかということで、次ページをご覧ください。「東北・夢の桜街道」の中心的な事業は、「美しき桜心の物語の語り会」です。先ほどの映像にもありましたが、今年の春は平野啓子副会長が三春の滝桜で語りの講演をされました。来年春は、宮城県の鹽竈神社に場所を移して語り会を行います。また、交通機関や旅行会社では、桜街道をPRしていきます。特にJR東日本では、「View」商品の中でPRをしていきます。旅行会社でも、交通機関と連携してPRを進めていきます。信金業界では、「しんきん桜守制度」を現地で導入することを考えています。東北地区には27信金がありますので、地元でも我々の応援に呼応する形で、札所の桜をシンボルにしながら、お子さんたちの絵画展や作文コンクール等、それぞれの地域に合ったプランを考えてもらい、地域づくりに貢献してもらおうと考えています。
- 先ほど、国交省から平成24年度の予算が付いたと申し上げましたが、その具体的な事業は大きく4つに分かれます。①東北復興支援シンポジウム（支援する側、支援される側が集まり、東京虎ノ門にある「イイノホール」で平成25年1月20日に開催予定）、②東北観光物産展&夢の桜街道パネル展（平成23年度もパネル展を開催済。平成24年度はさらに東北の観光物産展をプラスアルファする。新宿駅西口広場イベントコーナーにて平成25年2月24～25日に開催予定）、③しんきん桜守事業（桜の札所の看板設置、記念スタンプ等の配置）、④後援信用金庫全店&連携先でのポスター掲示（本支店全店に1月から5月初めまで掲示）。現在回覧しているのは、来年春のポスターです。今年の春は、東北6県の知事の顔を掲載していましたが、来年の春は各県のゆるキャラに登場してもらい、さらに親しみをこめてアピールする予定です。そして、美しい多摩川フォーラム単独としては、ダニエル・カールさんが「多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り」を、主に下流域において実施する予定です。

- ・ 次ページには、「東北・夢の桜街道運動」の中身を総括した文章が書かれていますので、後ほどお読みいただければと思います。

(渡邊部会長)

有り難うございました。大変素晴らしい事業展開のご説明をいただきました。時間も押し迫ってきましたので、ご意見、ご質問を2名まででお願いします。事務局のほうでご指名いただけますか。

(事務局)

東京急行電鉄の小林様、ご意見等ございましたらよろしくお願ひ申し上げます。

(小林様)

桜の時期は短いので、通年で東北に訪れてもらえるような仕掛けを考えたほうが良いのではないのでしょうか。

(事務局)

通年でやるとなると、すでに色々な方が色々な観光地でやっておりますので、それらとの差別化が難しくなります。まずは桜の時期にきっちりと固め、桜を通じて東北を知っていただいた方には、リピーターとして別の時期にも東北を訪れていただくように、それぞれの地域で営業努力をしてもらいたいと思っています。つまり、地元は応援されるばかりではなく、自ら知恵を出していくということです。ただ、これはまだ成熟した案件ではありませんが、桜の札所の近辺に名物等があれば、札所+逸品でPRしていこうという案がJRから出ています。そうすれば、桜を観賞した後に逸品を購入していただき、それを気に入っていただくことで通年楽しんでいただけることになります。来年はそういったきっかけづくりを考えようかと思っていますところ です。

(大谷様)

宮坂事務局長から、「桜にこだわる」というお話がありましたが、私は先週「桜ライン311」の関係者にお会いしてきました。「今年、かなりの桜を植樹したが、夏の高温・少雨で枯れてしまった」とのことでした。桜は、咲いている時期は短いのですが、散った後の維持・管理がとても重要で大変です。桜が咲いている時期だけでなく、管理の面においても考えていただきたいなと思います。

#### (4) その他

(渡邊部会長)

では(4)その他について、山崎副部会長からご説明をお願いします。

(山崎副部長)

今年もあと2ヵ月となりました。来年に向けて、次の動きを考えていかないといけない時期です。フォーラムに参加している行政は、かなりの数あります。団体、法人数も多いです。そこで、来年度への提案です。各行政、団体、法人から、地元の名産品（例：稲城-梨、川崎-アユ、奥多摩-わさび等）をひとつずつ持ち寄り、物産展ならぬ「多摩川博」ができれば良いと思います。JTさんはタバコを持って来る訳にはいかないと思いますが、知恵を絞れば何か出来ると思います。みんなで何かひとつのことが出来たら良いなと思っています。

(渡邊部長)

有り難うございました。最後の新聞記事について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

- ・ 前回の第2回地域経済活性化部会の席で、藤井さんから提供された日経の新聞記事を両面刷りでお配りしました。
- ・ 表面に、「中央線にトロッコ列車」とあります。フォーラム発足当初は、「奥多摩に蒸気機関車を走らせよう」等のプランがありましたが、JR東日本は11月、甲府駅-小淵沢駅に中央線では初めてのトロッコ列車を走らせるそうです。フォーラムとして、青梅線で走らせたかどうかというお話です。
- ・ また裏面には、「山梨の新興・中小、多摩へ」とあります。「多摩地区は衰退している、元気がない」という話は良く聞きますが、85万人を有する山梨県から見れば、400万人を有する多摩地区が魅力的に映るので、まだまだ夢を持っていこうというお話です。あくまでもご参考までにお読みください。

## 5. 総括・閉会（部長）

(渡邊部長)

今日は、3つの意見交換に対し、皆さんから貴重なご意見をいただき、有り難うございました。今後も皆さまのお力をお借りしたいと思いますので、よろしくお願いたします。有り難うございました。

以 上